

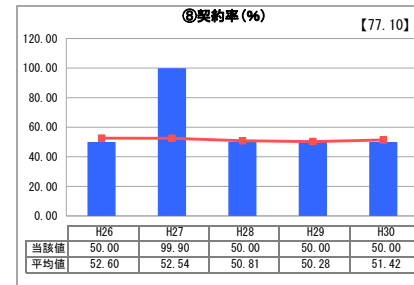
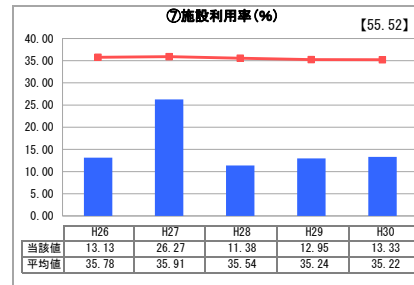
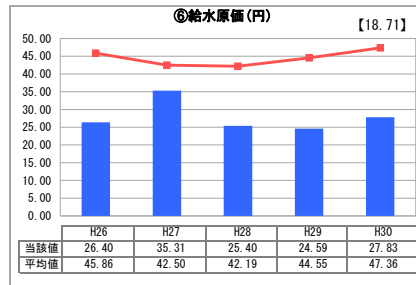
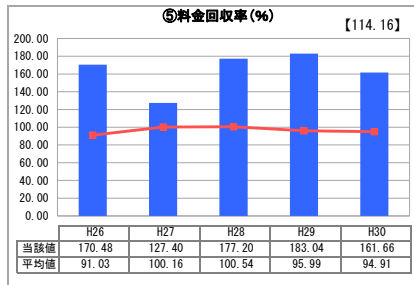
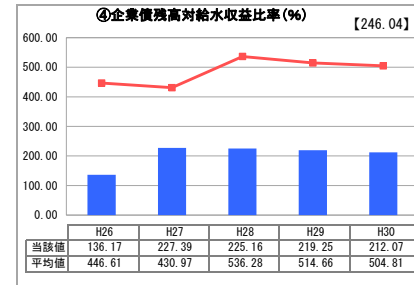
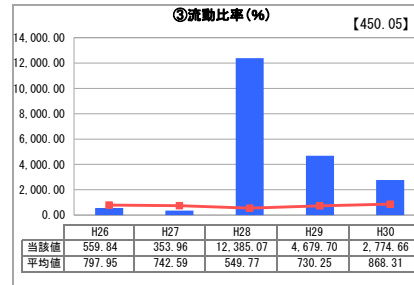
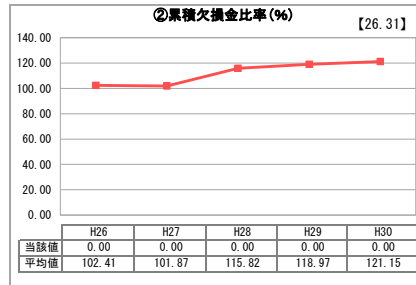
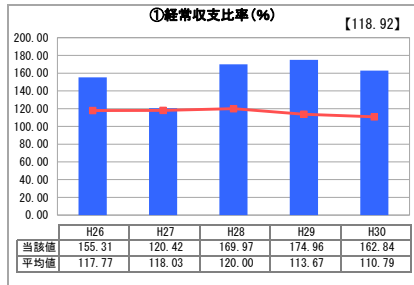
経営比較分析表／団体全体（平成30年度決算）

岡山県 総社市
【事業概要】

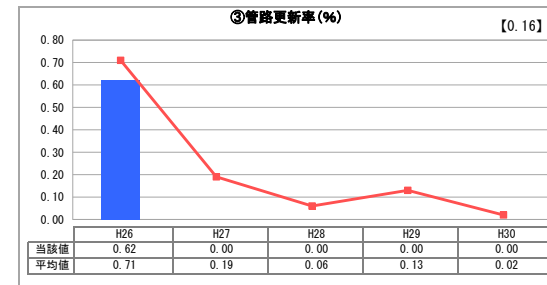
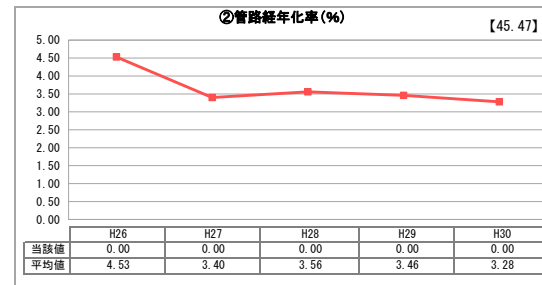
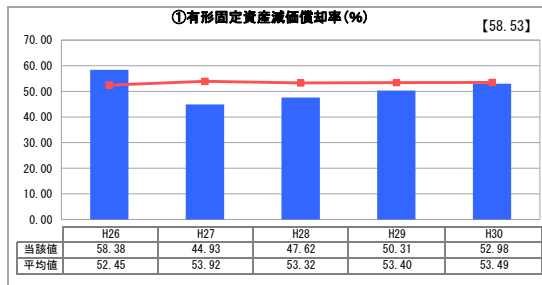
業務名	業種名	現在配水能力(合計) (m ³ /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m ³)
法適用	工業用水道事業	4,000	極小規模	1	533
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m ³ /日)	管理者の情報	
-	82.3	19	2,000	非設置	

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「③流動比率」について、平成28年度の当該値が著しく高くなっており、当年度の流動負債が例年より少なかったことによるものです。
「④企業債残高対給水収益比率」は類似団体や全国平均よりかなり低くなっており、引き続き企業債残高の抑制に努めていく必要があります。
⑧契約率については近年、50.00%となっており、今後の契約数量の増加の見込みがない場合には施設規模の見直しもする必要があります。

※⑧契約率のうち、H27の当該値「99.90」とあるのは「50.00」が正しい。

2. 老朽化の状況について

これまでのところ耐用年数を経過した管路はありません。平成26年度を最後に管路の更新は行っておらず、今後も管路更新の必要性について計画的に考えていく必要があります。

全体総括

現在のところ経営の健全性や効率性は確保されているものと言え、引き続き安定した経営に取り組む必要があります。